

令和6年 年頭のごあいさつ

一般社団法人滋賀県トラック協会

会 長 甲 斐 切 稔

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症も感染症法上の位置づけが2類から5類に移行され、景気は徐々に良くなってくると思われましたが、令和4年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻も収束に向かう気配もなく既に2年近くに達し、さらに円安も相まって、かつてない燃料価格の高止まりが続いており、我々業界の必死の自助努力にもかかわらず、経営状況は悪化の一途をたどり、燃料サーチャージ制度を活用して荷主企業に負担の軽減をお願いしておりますが、価格転嫁ができていないのが現状であり、ましてや標準的な運賃も収受できない状況にあります。

加えて、長時間労働・低賃金の影響によるドライバー不足、2024年4月から適用される働き方改革による年960時間の時間外労働上限規制等、山積する問題が拍車をかけ、多くのトラック運送事業者がまさしく事業存廃の岐路に直面しておりますが、このような中でも我々業界はエッセンシャルワーカーとして、国民の暮らしと経済を守るため日夜業務を遂行しております。

政府はこの2024年問題等の解決に向け、昨年10月6日、賃上げや人材確保など、早急に具体的な成果が得られるように、①物流の効率化、②荷主・消費者の行動変容、③商慣行の見直し、を目的とした「物流革新緊急パッケージ」を策定いたしました。我々業界は物流を支える人材の育成と確保、長時間労働の削減に向けた取組、標準的な運賃の確保と見直し、業界の多重構造、高速道路通行料金制度など様々な取組が必要となりますが、会員の皆様とともにこの難局を乗り越え、引続き、業界発展のため努力してまいります。

結びに、次期正副会長予定者に最大限のエールを送り、この1期2年間の御礼と感謝を申し上げ、年頭のごあいさつといたします。